

# 国立極地研究所 公募型共同研究 全体概要説明



NiPR

- 国立極地研究所の共同研究とは、国立極地研究所と連携し、極域に関連する日本国内の研究を促進するもの
- 令和2年度の「外部評価委員による点検評価報告」において、共同研究全体に関する評価を受け、課題数を絞り、ある程度の予算措置を行う特別共同研究の枠の新設することとなった

➔ 所内検討を経て、2023年10月の国立極地研究所運営会議において全体構成が承認された

## 「2-3 大学共同利用機関としての共同研究」

極地研の限られた人的資源で多くのプロジェクト研究をはじめ様々な活動を推進するには、他機関の研究者や大学院生との共同研究や研究集会での交流が不可欠である。これによって極地研の共同研究が多岐にわたり、かつ幅広い研究分野にわたって展開されていることは高く評価できる。また、各研究グループでは数多くの研究集会が開催されており、極域研究の普及・拡大に寄与している。一方、共同研究用の予算は限られており、多数の研究課題を申請者の要求通りに受け入れることは不可能であり、大学共同利用機関としての共同研究をどのように捉えるかを再検討すべき時期にある。共同研究は課題数を絞った方が効果的だと考えられる。具体的には、総予算の半分を極地研が設定する戦略的研究領域にあて、残りの半分以上を平等分配とし、研究費応募者は応募時にいずれかを選択する方法がある。また若手研究者を対象に予算を多く配分して比較的自由に執行させることも、めりはりのきいた予算配分の一つになるであろう。極域研究コミュニティを広く維持することは重要であるが、それは研究試料や分析機器等をより広く共同利用に供したり、研究集会やシンポジウムなどをより活発化するなど別の手段に任せるべきである。また、公開データをより扱いやすい形に加工し、データ活用ドキュメントの整備も行い、大学や他の研究所に対しデータ活用のための広報を積極的に行うことも有効であろう。

## 特別共同研究

## 一般共同研究

## 研究集会

## その他、関連の公募型共同研究

南極観測事業関連：南極地域観測第X期6か年計画 一般研究観測・萌芽研究観測公募  
北極域研究加速プロジェクト(ArCS II)研究計画公募等

## 特別共同研究:

- 日本国内の南北両極域に関わる極域科学の研究促進を目的とするもの
- 特に、両極域に跨がる国内での研究を推進する
- 共同研究で使用することのできる極地研の施設、設備及びデータ・資試料の利用、および上限100万円までの予算措置が可能
- 今後の極域科学を進める上で必要な研究集会等の開催も可能
- 特別共同研究の課題は、所外委員を含む審査委員会で審査され、採否および経費配分額等が決定される。

## 一般共同研究:

- 国立極地研究所を共同研究の場とした、極域科学推進のための共同研究。**基本的に予算の措置はなく**、共同研究で使用することのできる極地研の施設、設備及びデータ・資試料を利用して行う、極域に関連する研究課題
- 共同研究を進める上で、旅費等の支援が必要な場合、上限10万円までの**予算申請が別途可能**
- 一般共同研究の課題の採否は、**所内研究委員会の審査**を経て決定され、予算措置に関しては、採択決定後に配分額等が決定される。

(**別途予算措置可能**なものとして、極域科学分野の**若手研究者育成を目的とした**、本共同研究**育成研究員制度**があり、研究所に来所し施設、設備及びデータ・資試料を利用した、一般共同研究課題に関連する研究を行う**大学院学生の旅費等の支援**が可能。)

## 研究集会：

国立極地研究所が行っている極域科学の研究に関連し、研究の方向性や方法論、成果についての議論、検討を行う、国立極地研究所が主催となる比較的少人数の研究検討集会(ワークショップ)を、**上限予算15万円**までで開催を支援するもの。

# 国立極地研究所 公募型共同研究のまとめ

名称	定義	予算総額	1課題予算	採択件数	実施年数	23年度予算実績	審査主体	事務担当
<b>特別共同研究</b> (Special Collaboration Project)	中規模共同研究で極地研の設備・試資料・データ等を利用できる。2024年度より開始。	1,500万	<b>最大 100万/年</b>	15件程度	最大3年	0万	特別共同研究委員会	研究推進課 (審査事務はIPERC)
一般共同研究	極地研の設備・試資料・データ等を利用できる。予算措置無し。ただし別途申請があれば少額の旅費・消耗品・輸送費等を補助。	0万	0万	制限無 (7件)	最大3年	0万	所内研究委員会 (共同研究連絡会)	研究推進課
		200万	最大 10万/年	20件程度 (52件)	1年	590万		
研究集会	研究の方向性や方法論、成果についての議論、検討を行う、極地研が主催となる比較的少人数の研究検討集会(ワークショップ)	300万	最大 15万/年	20件程度 (20件)	1年	460万	所内研究委員会 (共同研究連絡会)	研究推進課
共同研究育成研究員	大学院生対象の出張費支援制度。特別共同研究・一般共同研究課題に紐づける。	200万 (予備費含)	最大 10万/年	10件程度 (2件)	1年	240万 (予備費含)		
合計		2,200万		(件) 23年度実績		1,290万		

大枠の見込みであり、年度ごとに見直しを行いながら運用する